

“未来をつくる再編”へ  
シコーグループ2社統合による新会社「ミライシコー株式会社」発足  
～社名は社員公募により決定～



シコー株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：白石忠臣、以下シコー）は、グループ会社であるポリタイ化学株式会社を存続会社とし、丸倉化成株式会社を吸収合併する形で、2026年4月1日付にて新会社「ミライシコー株式会社」（所在地：大阪府羽曳野市）を発足いたしました。

本再編は、縮小が続く包装資材市場においても持続的な成長と安定供給を両立することを目的としたものであり、グループ内の経営資源を統合することで、より強固な事業基盤の構築を目指します。

■ 合併と新会社発足の目的

シコーグループはこれまで、産業用包装資材を中心とした BtoB の事業分野で展開してまいりました。しかしながら、国内市場の縮小や顧客ニーズの高度化といった環境変化に対応するためには、より効率的かつ柔軟な事業運営体制の構築が必要であると判断しました。本合併により、製造機能の一体化による生産効率の向上、顧客ニーズに応じた製品提案力の強化、そして会社の垣根を越えた人的交流による供給体制の安定化を実現し、既存市場の深耕に加え、新たな用途や市場の開拓を進めてまいります。

■ ミライシコー株式会社 会社概要

社名	: ミライシコー株式会社
発足日	: 2026年4月1日（水）
代表取締役社長	: 白石忠臣
所在地	: 大阪府羽曳野市
主な事業内容	: ポリエチレン重包装袋および軟包装袋の製造 (肥料袋、化学品袋、食品用途包装資材など)
製造拠点	: 大阪府羽曳野市（既存拠点を統合・活用）

## ■ 新会社名の由来

新社名「ミライシコー」は、グループ周年行事の一環として社員から公募された名称の中から選定されました。この名称には、75年以上にわたり培ってきた包装技術を次世代へと継承しながら、新たな価値を創出し続ける企業でありたいという想いが込められています。

シコーグループが掲げるビジョン「包装で創るストレスフリーな世界～つかいやすく、かたづけやすく、つくりやすい～」の実現に向け、未来志向の挑戦を続けてまいります。

## ■ 代表取締役社長 白石忠臣コメント

本再編は、「守るため」だけのものではありません。

市場が縮小する中においても、私たちは成長のあり方を自らつくり、既存の延長ではなく、新たな用途や市場を切り拓くことで、これまでにない価値を生み出していきたいと考えています。

ミライシコー株式会社の発足は、未来に向けた挑戦の起点です。

製造機能を担う新会社と、営業機能を担うシコー株式会社が連携することで、これまで以上にお客様にとって使いやすく、価値のある包装資材を提供してまいります。

note：「アツギ社長が葛藤しながらグループ再編をする話」記事は[こちら](#)より

## 【シコー株式会社】

食品、化学品をはじめとする「包装資材を製造販売するシコー株式会社は「包装で創るストレスフリーな世界～つかいやすく、かたづけやすく、つくりやすい～」をビジョンに、包装に関係する製品を提供しています。

代表取締役社長 白石忠臣

住所：(本社) 530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-1-3-1500 大阪駅前第三ビル 15 階

・シコーコーポレートサイト <https://www.siko.co.jp/>

・シコラサイト <https://www.siko.co.jp/entrance-sikora/>

・ソリューションサイト <https://www.siko-solution.com/>

## 【ポリタイ化学株式会社（存続会社）】

所在地：大阪府羽曳野市

事業内容：ポリエチレン重包装袋の製造

主な製品：肥料袋、化学品向けポリエチレン重袋

**【丸倉化成株式会社（消滅会社）】**

所在地：大阪府羽曳野市

事業内容：軟包装袋の製造

主な製品：農業・衣料用途向け包装資材、及び工業用途

**【報道機関からのお問い合わせ】**

担当：シコー株式会社大阪本社 支援部 泉谷

電話：06-6345-8456 / [info@siko.co.jp](mailto:info@siko.co.jp)